

出版デジタル機構、「楽天ブックス」へ POD（プリント・オン・デマンド）書籍のデータ取次を開始

～ 楽天ブックスと契約している全国 2,000 以上の書店で POD 書籍の注文、受け取りが可能に ～

株式会社出版デジタル機構（東京都千代田区神田錦町、代表取締役社長 新名新、以下 出版デジタル機構）は、オンライン書店「楽天ブックス」を提供先とする POD（プリント・オン・デマンド）データの取次サービスを開始いたします。

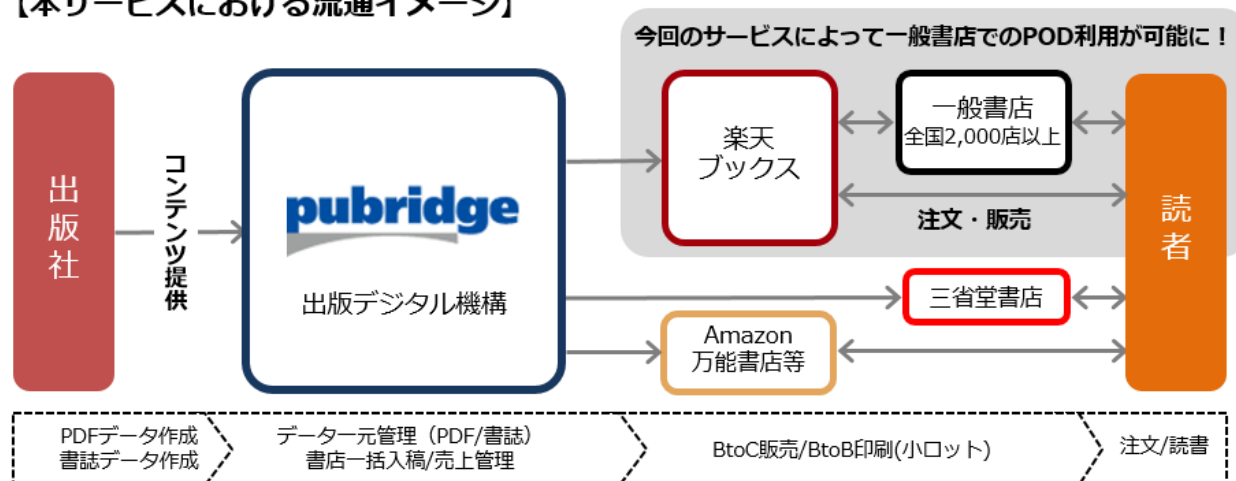
今回のサービス開始により、「楽天ブックス」だけでなく、同サービスと契約している全国 2,000 以上の一般書店からも、出版社が提供する POD 書籍を注文すると、早ければ注文の4日後に受け取ることができるようになります。

出版デジタル機構は、電子書籍の流通を支えてきた実績を活かし、出版社から預かった POD 用 PDF データを「楽天ブックス」に取り次ぐシステムを構築しました。これによって読者は、欲しいけれど流通していない書籍でも、身近な一般書店や「楽天ブックス」を通じて、迅速に購入することができるようになります。一方で出版社にとっては、在庫の無い書籍であっても書店からの客注（取り寄せ注文）に対応することが可能となるため、眠っていた過去の資産を再び市場に提供・販売していく機会を得ることができます。

出版デジタル機構はこれまでも、Amazon、三省堂書店、万能書店に POD 用 PDF データを取り次ぎ、POD 書籍の販売実績管理、出版社への売上分配を行ってまいりました。また出版社に対して紙書籍・電子書籍・POD 書籍のデータ製作を一元化するサービス「Picassol」の提供などを行い、出版社が POD 事業に参入しやすい環境づくりを推進し、提供コンテンツの拡充を図っております。

今後は全国の一般書店で POD 書籍の販売を可能とする本サービスの提供を通して、出版業界における紙書籍の新たな流通チャンネル開拓を目指してまいります。

【本サービスにおける流通イメージ】



■株式会社出版デジタル機構について

出版デジタル機構は、電子出版ビジネスのインフラ提供(電子書籍製作代行から取次・配信、アーカイビング等)を通して電子書籍市場を拡大することを第一の目的として2012年4月に設立されました。以来、電子書籍取次事業においては1,000社以上の出版社、および50社(700サイト)以上の電子書店と連携し、43万点以上の電子書籍データを流通させ、国内電子書籍市場の拡大を推進してまいりました。昨今は電子書籍のみならず、ネットやデジタルの技術を活用して紙書籍を含めた出版ビジネスを支援するPublisher's Service Companyを目指し、次々と新しいサービスを開始しています。

2017年3月31日に株式会社メディアドゥ(東証第一部 3678、本社 東京都千代田区一ツ橋、代表取締役社長 藤田恭嗣)の連結子会社となり、グループ全体として電子書籍取次事業では国内最大シェアを有しております。

サービス名称の「pubridge(パブリッジ)」は、Publish(出版)とBridge(橋)を組み合わせた造語。

商号:株式会社出版デジタル機構(サービス名称:パブリッジ) 代表取締役社長:新名 新 設立:2012年4月2日

・資本金:13億5,862万5千円 URL:<http://www.pubridge.jp>

このリリースに関するお問い合わせは出版デジタル機構 広報担当までお願い致します。

TEL:03-6837-1875 MAIL:press@pubridge.jp